

2018年1月1日発行
第72号

あひる

和光市青少年育成推進委員会
広報担当発行
教育委員会事務局
スポーツ青少年課青少年担当 ☎424-9082

青少年育成推進委員会とは？

青少年埼玉県民会議が委嘱をするボランティア団体です。
平成29年度は33名で活動をしています。

活動内容

- ①青少年をまもる店の協力店訪問及び新規協力店舗普及活動
- ②優良図書などの利用宣伝及び有害図書の追放(図書マップの作成)
- ③広報わこうに特集ページ「あひる」の掲載
- ④講習会・情報交換会の開催
- ⑤地域における青少年健全育成の環境整備(市、市民会議主催の事業協力)

青少年育成推進委員会の歴史

昭和40年「和光市良い本を読む会」を発足
昭和43年「和光市良い本を読む運動推進委員会」発足
昭和50年 図書等自動販売機設置台数過去最大(市内に18台)
昭和54年「和光市青少年の環境浄化委員会」に名称変更
昭和60年「和光市青少年育成推進委員会」に名称変更、
広報「あひる」発行開始
昭和61年「青少年をまもる店」協力店指定を開始
…
平成29年3月現在
図書等自動販売機0台を遂行中、
「青少年をまもる店」協力店179店(平成28年度実績)

ご存知ですか？「青少年をまもる店」

お店の立場で、子どもたちの健やかな成長を見守ります。

- ①子どもたちに悪影響を及ぼす恐れのある商品の販売はしません。
- ②非行のきっかけとなるような子どもの行動を見守っています。
- ③子どもが怖い目にあった時や困ったことがあった時は協力しています。

調査項目

- ①「青少年をまもる店」プレートの表示状況
- ②青少年・子どもたちの購買行動について
- ③お店の対応・見守り活動について
- ④万引き対策・対応について
- ⑤地域の様子について



※この活動は、青少年育成和光市民会議及び朝霞警察等のご賛同もいただいているものです。

実際の様子を伺いにきました

青少年育成推進委員会では、協力店を一軒ごとに全て訪問し、地域での青少年の状況を把握するとともに、青少年が健やかに育つように、お店の立場から協力していただけるようお願いするために、毎年7月～9月に訪問活動を行っています。今年度も協力店の方々に子どもたちの購買行動や各地域の様子などのお話を伺ってきました。

訪問調査をした推進員の感想

推進員の一人として協力店に実際に足を運び、お店の方のお話を聞き、子どもたちの様子を知る良いきっかけになりました。

親の目の届かない所でも、こうして地域の方や色々なお店の方が常に子どもたちを見守ってくれていることを再認識することができ、安心しました。

この和光市独自の見守り活動を新しいお店の方にもご協力いただいて、市全体で子どもたちの安全と健全育成に取り組んでいくことができれば素晴らしいことだと思います。

お忙しい時間にも関わらず、親切に細かく現状をお話しくださったお店の方、ご協力ありがとうございました。今後も、この活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



「青少年をまもる店」協力店としてご協力いただいているお店の皆様、訪問調査にご協力いただき誠にありがとうございました。



訪問活動撮影協力店:ヤマザキショップいっだ(飯田 孝之 店長)

協力店の目印

いじめ撲滅のために保護者の立場でできること

青少年育成推進委員会では11月のいじめ撲滅強調月間の取組として平成29年11月15日(水)市役所会議室で「いじめ撲滅のために保護者の立場でできること」ワークショップを開催しました。

ワークショップの流れ

- 6つのグループで実施
- A～Fグループ(各小中学校混合班)
- ①身近で起きたトラブルを各自黄色い付箋に記入



- ②①の黄色い付箋をグループ内で共有
- ③身近で起きたトラブルへの対応策を各自でピンク色の付箋に記入
- ④③の対応策のピンクの付箋をグループ内で共有



- ⑤グループで話し合った内容を、全体で発表し、課題や対応策を共有



身近で起きたトラブル事例(黄色付箋)

言葉関係

- 「デブ、ブス」などと容姿のこと
- 「うざい、なんで来るの?」 ●友達に「汚い」という

コミュニケーション関係

- あいさつをしても、無視された
- いじめられていた子を助けたいじめの標的になってしまった
- 特定の子が来ると態度を変える

暴力関係

- ぶったり、けったりしていた
- 足をわざとふんだり、けったりする
- 下校時、道路に突き飛ばされている子がいた
- 集団で一人の子を殴る、蹴るなどしているという噂を聞いた

通信関係

- 悪口の書き込み
- グループをはずされたり、いきなり退会させられたりした
- 通信機器を使用していない相手を仲間はずれにする
- 既読無視を気にする

いたづら関係

- 文房具がなくなった ●図工の作品をゴミ箱へ捨てられた
- 靴や体育着を隠された

保護者が考えた対応策(ピンク付箋)

言葉関係

- 家庭の中で親からすすんで人の悪口を言わない
- 嫌なものは嫌だと自分の意思を言うようにアドバイスする

コミュニケーション関係

- 日頃からちょっとしたことでも話せるように家庭でのコミュニケーションを大切にする
- 身近に仲の良い友人をつくり、孤立させないようにする
- 「あなたのことがとても大切だから、どんな時でも見守っているよ」と声をかける

暴力関係

- 親同士や先生への相談、報告、継続した見守り
- そのような場を見かけたら、声をかける
- 自己防衛できる能力を身につけさせる
- 逃げることも大事、逃げられる場所があることを知らせる

通信関係

- 家庭での約束事やルールを作る
- 学校の相談室をとおして相談
- SNS上のやりとりは会話のように速く進むけれど、よく言葉を選んで、意味が誤解されないように気をつけるということを子どもにアドバイスする

いたづら関係

- 学校へ相談する
- 人目をひくような文房具、物を持たせない

ワークショップを終えた推進員の感想

●学校や学年を越えて、身近の事例を聞くことができ、このようなトラブルが、いつどこで起きてもおかしくないと思いました。

●子どもたち自身にもこのようなワークショップに参加してもらい、いじめに対して考える機会をつくってほしいと思いました。

●今回このようなワークショップに参加をし、複数の保護者同士で対応策について一緒に考える機会があり、実際、トラブルが起きた際は、学校だけではなく、保護者と連携をとって、子どもたちにメッセージを伝えると良いと感じました。

子どもを犯罪から守るために

講習会に参加し、犯罪が発生しやすい場所、子どもを見守る方法などとても勉強になりました。

☎平成29年10月11日(水) ☎講習会「犯罪から子供を守るためにできること」
☎松田 剛(朝霞警察署生活安全課)



【あやしい人の見分け方】

「はちみつまん」

- はなしかけてくる人
- ちがづいてくる人
- みつめてくる人
- ついてくる人
- じっとまっている人

今後の予定 情報交換会や講習会にご参加ください!

子どもや子育てに関すること、日常生活で役立つ内容など、様々なテーマで開催しています。

☎1月17日(水)9:30から ☎市役所6階 603会議室
☎子供安全見守り講座 ☎不要。直接会場へお越しください。